

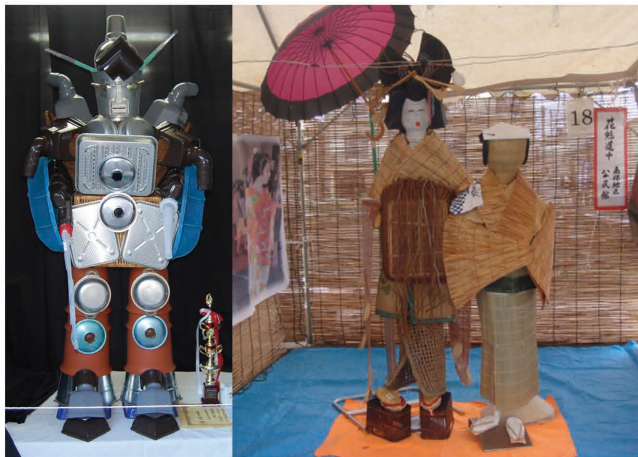
はまわきやくしまつ み た ざい く
浜脇薬師祭りの見立て細工

浜脇

市指定無形民俗文化財（風俗慣習）

平成 25 年 3 月 1 日指定

浜脇薬師祭りは、毎年8月下旬に開催される。見立細工が有名であり、別府特産の竹細工をはじめとする日用品を使い用いて、様々な趣向を凝らした見立細工が商店の店先や道端の展示場に飾られる。浜脇薬師



師祭りにおける見立細工の起源は不詳であるが、明治時代初頭には行われていたとされ、大正時代には盛んになり、出来栄を競うようになった。昭和初期から昭和 15 年頃までが最も盛んで、通りに面した旅館は風流見立細工、遊郭は歌舞伎人形、商店は商品棚や陳列の一部を利用して見立細工を展示した。現在では素材は自由になったが見立細工の趣向は受け継がれ、取り上げられる題材も、物語や風俗・動物など昔ながらのものや、現代の世相にいたるまで様々なものが取り上げられている。浜脇薬師祭りの見立細工は、湯薬師への信仰と浜脇の手工業（竹細工）、温泉宿の賑わいに支えられて起こり継承されている。（入江 秀利）